

◆ 解答例



◆ 解説

この問題は、繰り返し処理と条件分岐を組み合わせた問題になります。

注意すべき点は、条件分岐問題9で利用した **と聞いて待つ** と **答え =**、**答え** を組み合わせた条件指定と、**と 2 秒言う** で「正解!」と言う回数は、1回だけで良いということです。

これは、**4 回繰り返す** ブロックの中に **と 2 秒言う** を入れないように注意すれば大丈夫です。もし、**4 回繰り返す** の中に **と 2 秒言う** を入れてしまうと、「正解!」と言う命令を4回繰り返してしまうことになるため、問題ぶんで提示したアニメーションのようにはならないので注意が必要です。